

# STOP! 転倒災害 プロジェクト

## 社会福祉施設における労働災害防止について

福岡県内の社会福祉施設において、労働災害が多発しています。その中で、「転倒災害」や「腰痛」などの災害が、多数含まれています。福岡労働局では、転倒災害を撲滅するため、「STOP! 転倒災害プロジェクト」を進めています。

このリーフレットでは、転倒災害防止をはじめとする労働災害を防止するために、労働災害事例とその対策に加えて、チェックシートを示しましたので、ご活用ください。

### －福岡県内における労働災害事例（平成 27 年）－

	傷害等	災害発生状況	主要対策
1	<b>転倒災害</b> 左膝の打撲、左膝後十字靭帯損傷 休業見込 4 か月	■ 施設利用者の電気治療施行において、施設利用者のベッドへの昇降用踏み台を使用後にベッド下に収納していなかったため、それに気付かずにつまずき、転倒し、負傷したものの。	■ 踏み台は、使用後にベッドの下に収納する (4S)。
2	<b>転倒災害</b> 右膝蓋骨折 休業見込 3 か月	■ 施設内の巡回中、廊下に水たまりができていたことに気付かずに、右足が滑って転倒し、負傷したものの。	■ 廊下の水たまり・水濡れは、直ちに雑巾で拭きとる (4S)。 ■ 清掃作業に適した靴の着用。
3	<b>転倒災害</b> 臀部の打撲、腰椎圧迫骨折 休業見込 2 か月	■ 施設床の水拭き清掃中、ナースコールが鳴ったので居室に向かうべく駆け足で 2、3 歩進んだところ、拭いた直後の濡れた床で、滑って転倒し、負傷したものの。	■ 施設床の水濡れは、乾拭きにより完全に拭き取る (4S)。 ■ 清掃作業に適した靴の着用。
4	<b>墜落、転落災害</b> 第 3 腰椎骨折 休業見込 40 日	■ 事務所内で高所にある棚上を清掃のため脚立を使用していた時、脚立の開き止め金具が確実に固定出来ていなかったため、同金具が外れて脚立が開いたため、墜落し、腰部を強打し、負傷したものの。	■ 脚立の開き止め金具を確実に固定する。 ■ 「これは危ない」というポイントを 指差呼称で確認する。
5	<b>動作の反動、無理な動作</b> 左膝内外側半月板損傷 休業見込 4 か月	■ 施設の居室トイレにおいて、入居者を車椅子から便座に移動させるため後ろから両脇に手を通し抱え上げた時に、しゃがんだ状態から一気に立ち上がるうとして、負傷したものの。	■ 作業姿勢を改善する。 ■ ストレッチ体操や腰痛予防のための運動を取り入れる。
6	<b>腰痛</b> 胸椎圧迫骨折 休業見込 2 か月	■ 利用者をベッドに移動させる際、背中側から急いで抱え起こそうとした際、急に力を入れたことにより、腰付近に激痛が走り、負傷したものの。	■ 作業姿勢を改善する。 ■ ストレッチ体操や腰痛予防のための運動を取り入れる。
7	<b>有害物等との接触</b> 両目化学外傷 休業見込 9 日	■ 施設内の処理室において、布物の消毒に使用する次亜塩素酸ナトリウムの容器側面ノズル部が凹んでいたのを手で引き出そうとしたところ、ノズル先端に残存する次亜塩素酸ナトリウムが両目に飛沫し、負傷したものの。	■ 保護眼鏡を着用する。 ■ 納入業者から安全データシート (SDS) の交付を受け、リスク管理する。

福岡労働局・各労働基準監督署




## あなたの職場は大丈夫？災害の危険をチェックしてみましょう

労働災害防止のためのチェックシート（毎月第1週（1～7日）に点検を！）

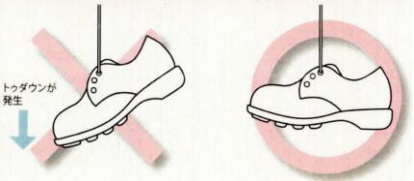
	チェック項目	シ
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつ、ちょうど良いサイズのものを選んでいきますか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか	<input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>
10	腰痛発生のリスクの低減措置を討議し、実施していますか	<input type="checkbox"/>

## 転倒災害防止対策のポイント

▶ 転倒災害を防止することで、安心して作業が行えるようになり、作業効率も上がります。できるところから少しずつ取り組んでいきましょう。

4S (整理・整頓・清掃・清潔)	転倒しにくい作業方法 「あせらない 急ぐときほど 落ち着いて」	その他の対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行場所に物を放置しない</li> <li>・床面の汚れ（水、油、粉など）を取り除く</li> <li>・床面の凹凸、段差などの解消</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間に余裕を持って行動</li> <li>・滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行</li> <li>・足元が見えにくい状態で作業しない</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業に適した靴の着用</li> <li>・職場の危険マップの作成による危険情報の共有</li> <li>・転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起</li> </ul> 

### ＜転倒しないための靴選びのポイント＞

<b>サイズ</b>	小さすぎても大きすぎても踏ん張りがきかずバランスを崩しやすくなります。	
<b>屈曲性</b>	屈曲性が悪いとすり足になりやすく、つまづきの原因になります。	
<b>重量</b>	重すぎると足が上がりにくくなり、つまづきの原因になります。	
<b>重量バランス（前後）</b>	つま先方向に重量が偏っていると、歩行時につま先が下がり、つまづきの原因になります。	
<b>つま先部の高さ</b>	つま先の高さが低いと、ちょっとした段差にも、つまづきやすくなります。	
<b>靴底と床の耐滑性のバランス</b>	作業場所や内容に合った耐滑性であることが重要です。例えば、滑りにくい床に滑りにくい靴底では摩擦が強くなりすぎてつまづきの原因になります。	

福岡労働局労働基準部 安全課 Tel. 092-411-4865 健康課 Tel. 092-411-4798  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-11-1 福岡合同庁舎新館 4 階